

## 畜産ABLの取組について

### 1. 畜産ABL (Asset-based lending)

金融機関が家畜等の動産を担保として融資を行う手法。

### 2. 導入のメリット

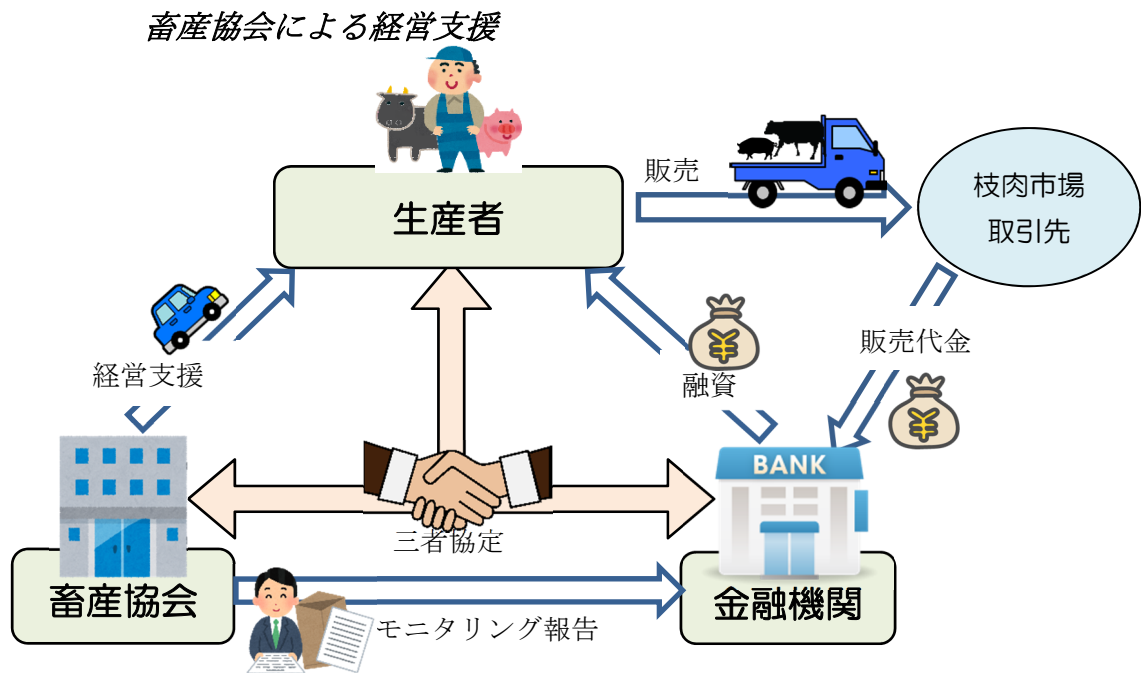
#### (1) 金融機関

- ① 不動産担保や保証人による融資に限定されず、動産担保とする家畜を畜産協会がモニタリングすることで、融資判断が容易である。
- ② 経営に対する判断力のレベルアップが期待できる。

#### (2) 生産者

- ① 運転資金や規模拡大等の資金調達が容易になり、経営の安定化が図れる。
- ② 金融機関や畜産協会からの的確なアドバイスを受け、経営管理の改善・効率化が図れる。

### 3. 仕組み



### 4. 取組経過

- (1) 平成26～27年度にJA系統、28年度に銀行等と検討会を開催
- (2) 28年度に養豚経営モデルにてモニタリング体制構築
- (3) 29年2月に生産者・金融機関・畜産協会によるモニタリング協定締結

### 5. 畜産協会の経営支援

- (1) 生産者は、定期的に生産データを報告する。
- (2) 畜産協会は、生産性分析を行い、生産者と金融機関へ報告する。
- (3) 畜産協会は、必要に応じ現地調査を行い、総合的な経営診断を行う。
- (4) 金融機関は、担保評価を行う。